

第2回再編整備後の西中島小学校校地活用検討会議 会議要旨

1 日 時 令和5年11月30日（木） 13時30分から14時30分

2 場 所 淀川区役所 5階 区長応接室

3 出席者

（委員）

三田委員、水本委員、田中（薫）委員、田中（升）委員

（淀川区役所）

岡本区長、橋本副区長、田口政策企画課長、山田市民協働課長、大橋政策企画課長代理

（マーケットリサーチ業務委託事業者）

株式会社 建設技術研究所 白永氏、松田氏

4 議 題

(1) マーケットリサーチの業務委託について

(2) マーケットリサーチ中間報告

(3) 意見交換会

5 会議資料

- ・ 資料1 出席者一覧
- ・ 資料2 マーケットリサーチの業務委託について
- ・ 資料3 マーケットリサーチ中間報告

6 議事要旨

(1) 田口政策企画課長から、資料2に関する説明を行った。

(2) 株式会社 建設技術研究所 白永氏から、資料3に関する説明を行った。

質疑応答の内容は以下のとおり。

（委員）

- ・ 資料4ページ目に記載がある上町断層帯地震の最大震度はどのように計算しているのか。

（株式会社 建設技術研究所）

- ・ 大阪市が公表している情報を掲載している。

(委員)

- ・ 学校法人については 165 法人に対してアンケートを実施したのか。

(株式会社 建設技術研究所)

- ・ 専修学校及び各種学校が所属している団体を通して、アンケートを配付しているため、効率的に多くの法人に配付ができている。

(委員)

- ・ 西中島小学校校地の活用について、今後の流れを教えてください。

(淀川区役所)

- ・ 小学校である間は大阪市教育委員会事務局所有の行政財産、統合後は区役所所有の普通財産に移管という扱いになる。しかしながら、区役所が小学校を維持していくためには維持費がかかってくる。校地活用のスキームとしては、事業用定期借地権設定、定期建物賃貸借等が選択肢として挙げられる。当区としては、地域防災拠点機能及び地域コミュニティ機能を残すためにも、土地の売却以外のスキームによる活用を検討している。校地活用の方策を検討するにあたり、まずは実現性のある活用アイデアについて整理を図るために市場調査を実施しているところである。市場調査の結果が出た後に、委員のみなさまのご意見もうかがった上で、校地活用の方策を検討していきたい。

(3) 委員からの意見等の概要は以下のとおり。

- ・ リニア中央新幹線及び北陸新幹線が開業した場合、西中島小学校校地周辺の開発状況は大きく変わることが予想される。今後の調査では、現在の西中島小学校校地周辺の状況だけではなく、将来的な開発の具体的な計画についても確認していきたい。
- ・ 西中島小学校校地について、新大阪駅の目玉となるような施設をつくることはできないか。
- ・ アンケート調査の結果、既存校舎は使用せず、更地としての活用を希望する事業者が多いようであるが、校舎及び運動場については可能であれば既存のものを活用することを希望する。
- ・ 今後、アンケートの回答のあった事業者に対して、さらに詳細なヒアリングを行っていくということであったが、地域コミュニティ機能及び地域防災拠点機能については維持することを前提として話を進めていきたい。西中島地域については、西中島小学校校地が使用できなくなってしまうと、地域活動を実施する場所がなくなってしまう。